

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
きさらぎ賞	別定	GIII	京都	芝1800m	良想定	平坦	中荒れ	E

※文字色の意味

2021/2/7

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ジャンカルド	和田竜	ハービンジャー	デインヒル	フジキセキ	フジキセキ	56	C	B	A	A	C	C	7	△3	9
2	ラーゴム	北村友	オルフェーヴル	ステイゴールド	Candy Ride	ミスターオブザ	56	C	A	A	B	B	B	3	○	1
3	ヨーホーレイク	武豊	ディーブインパクト	ディーブインパクト	フレンチデピュティ	ゲイストジェント	56	B	B	B	C	A	B	2	☆	2
4	ダノンジェネラル	川田	ドゥラメンテ	キングマンボ	フレンチデピュティ	ゲイストジェント	56	B	B	B	B	C	B	4	▲	7
5	タガノカイ	泉谷	ノヴェリスト	ブランドフォード	ホワイトマズル	リファール	56	D	C	C	A	D	D	9	消	4
6	トーセンクライマー	荻野極	ゴールドシップ	ステイゴールド	New Approach	サドラーズウエルズ	56	E	C	B	B	C	D	11	消	8
7	ショウナンアレス	松山	リオンディーズ	キングマンボ	フジキセキ	フジキセキ	56	C	C	C	B	C	C	6	△1	6
8	アクセル	柴山	キズナ	ディーブインパクト	タイキシャトル	ヘイロー	56	C	C	C	C	C	C	10	△4	11
9	ランドオブリパティ	三浦	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Dubawi	ミスターオブザ	56	B	C	C	C	C	C	1	△2	3
10	ドウラモンド	岩田望	ドゥラメンテ	キングマンボ	Include	アックアック	56	B	C	B	B	B	B	5	◎	10
11	アランデル	池添	ハービンジャー	デインヒル	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	56	C	B	A	A	C	C	8	△5	5

※評価はこのレース中の相対評価になります

**PREVIEW**

例年は京都芝1800mで行われることで、底力というよりは直線の瞬発力が問われることの多かった感じ。ただ、今年に関しては明け3歳馬にとっては凄まじくタフな舞台と言っている中京芝2000mでの開催になりますし、キレだけではなく総合力が問われると考えていい。このレースで強いパフォーマンスを見せる馬がいればクラシックにも直結するはず。

メンバーレベルは微妙そうで、少頭数の割にそれなりに位置を取りに行きそうな馬や騎手が多いというのがぼっと見の印象。前に行った馬がそのまま粘りこむようなレース展開になるとは思えず、愛知杯のウラスチャームや日経新春杯のミスマンマミアのように、後方待機で直線だけの競馬で突っ込んでくる馬が有利なレースになりそうな感じがします。

本命は人気を考えても◎ドウラモンドが面白い。デビューから2戦は低レベル戦で評価が難しいレース。前走の朝日杯FSはため残りでこの時計で走ったのであれば上出来という感じで、現時点での指数レベルで言えば今回のメンバーでは上位。ただ、そこからの400mの距離延長、及びタフな中京芝2000mに対応できるかはやってみなければわからないところで、重賞における岩田望騎手の期待値もさほど高くない。

**REVIEW**

タガノカイが逃げて前半はスローペースだったが、中盤からペースが緩まないで中京芝2000mらしいロンスバ戦に。荒れた馬場を苦にせずロスなく競馬ができたラーゴムが重賞制覇に至った。中京芝2000mは地力が問われやすい舞台で、なおかつ距離が長かった馬が多く4着以下は突き放された。上位3頭は水準レベルの能力はありそうだが、クラシック云々と言えるような馬ではない感じがします。

**コース特徴**  
向こう正面でペースが緩み、そこから下り坂で早めにスタートとなりやすい。3歳馬にとっては過酷な舞台。

**馬場レベル&バイアス**  
D=やや重い

**血統傾向**  
今開催の中京芝2000mの傾向及び、中京芝で行われた重賞の結果を見て、父サンデー系よりも父非サンデー系の重厚な血統の活躍が目立つ。

**展開**  
タガノカイの単騎逃げが濃厚。極端なスローペースにはならなそう、ロンスバ戦になれば脚を溜めた差し馬が有利になりそう。

**データなど特記事項**  
今年の中京開催なのでデータは参考にはできないか。

**危険な馬**  
ランドオブリパティ=前走はアクシデント的な事とされているが、全姉リパティハイツは最終的にスプリント戦で開花したような馬ですし、牝馬から牡馬に変わったとはいえ本質的にはスピードタイプの馬なんだろう。使うことにスピードが前面に出てきた感じがします。

**妙味大な馬**  
ラーゴム=いかにも現時点での基礎体力が上位な感じの馬で、2歳時はその体力アドバンテージを活かして中距離戦で活躍していた印象。今回も決してメンバーレベルが高くないですし、この馬の体力を活かすことができそうな舞台設定。北村友一騎手もある程度構えて乗りそうなので合うと思う。

**穴馬**  
ドウラモンド=デビューから2戦は低レベル戦で評価が難しいレース。前走の朝日杯FSはため残りでこの時計で走ったのであれば上出来という感じで、現時点での指数レベルで言えば今回のメンバーでは上位。ただ、そこからの400mの距離延長、及びタフな中京芝2000mに対応できるかは半信半疑。

想定時計	上3F	下3F
2:01:6	36.8	36

**想定ラップタイム**  
12.7 -11.0 -13.1 -12.8 -12.1 -11.9 -12.0 -11.8 -11.7 -12.5

Copyright (C) 2014 - KAZ  
All Rights Reserved.  
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

